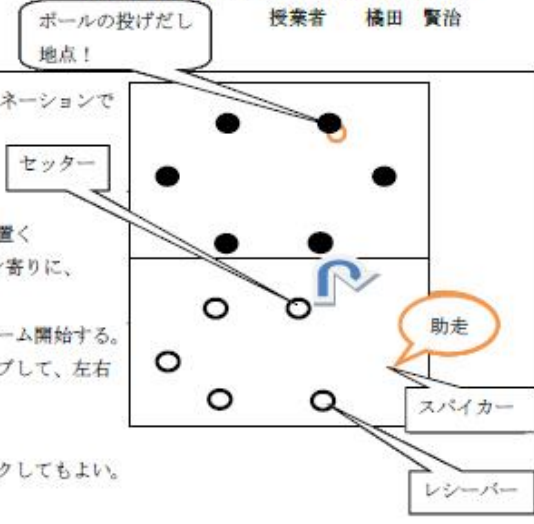


<p>1. 主眼</p> <ul style="list-style-type: none"> ○レシーブ・キャッチ&スロー・スパイクのコンビネーションで相手コートに攻撃することができる。 ・レシーバーを自分の意図するところにコントロールすることができる。 ・セッターは、アタッカーが攻撃できるようにキャッチ&スローができる。 <p>2. 指導上の留意点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①それぞれのプレーヤーが適切な位置取りができる。 ②セッターとスパイカーが連携を取ることができる。 ③レシーブがセッターに返らなかったときのカバーができる。 <p>3. 評価</p> <p>【 関心・意欲・態度 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に練習している ・自分の役割を全うしている <p>【 思考・判断 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントに注意し、練習している <p>【 技能 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを理解し、実践できる <p>【 知識・理解 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを理解している
--

めあて レシーブ・キャッチ&スロー・スパイクのコンビネーションで相手コートに攻撃しよう。

- ① 1チーム6名を原則に行う。
- ② セッター2名、スパイカー2名、レシーバー2名を置く
セッターはネット際に、スパイカーはサイドライン寄りに、レシーバーはエンドライン寄りに位置する。
- ③ 相手コートのバックゾーンにボールを投げ入れてゲーム開始する。
- ④ レシーバーまたはスパイカーがそのボールをレシーブして、左右いずれかのセッターに返球する。
- ⑤ スパイカーは助走からジャンプをして打ち返す。
- ⑥ スパイカーの正面にいる防御側のセッターはブロックしてもよい。



本時の流れ

1. 準備体操・補強運動（グループごと）
2. 前回の復習と本時の説明
3. スキル練習「レシーブ・キャッチ&スロー・ブロック（3人1組）」
4. ゲーム①「攻撃組み立てゲーム」
 - ・作戦タイム
 - ・試合（分析シートを用いて分析も同時に行う）
 - ・振り返り
5. 本時のまとめ

構造図	ネット型 バレーボール 3年	
目指すゲームの様相	<ul style="list-style-type: none"> ○三段攻撃（レシーブ→トス→スパイク） ○男女混合 ・1年次に学習した技能を活用し、レシーブ・トス・スパイクの三段攻撃ができる。 ・三段攻撃でのラリーが続くようにする。 	
工夫したゲーム	 <ol style="list-style-type: none"> ① 1チーム6名を原則に行う。 ② セッター2名、スパイカー2名、レシーバー2名を置く セッターはネット際に、スパイカーはサイドライン寄りに、レシーバーはエンドライン寄りに位置する。 ③ 相手コートのバックゾーンにボールを投げ入れてゲーム開始する。 ④ レシーバーまたはスパイカーがそのボールをレシーブして、左右いずれかのセッターに返球する。 ⑤ スパイカーは助走からジャンプをして打ち返す。 ⑥ スパイカーの正面にいる防御側のセッターはブロックしてもよい。 	
必要となる基礎的技能	<ul style="list-style-type: none"> ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス ・サイドハンドサーブ ・フローターサーブ ・スパイク（両手でも可） 	<ul style="list-style-type: none"> ※サーブ（サイド・フローター） 1年次のアンダーサーブに加えて、新たにこの2つを教える。とりあえずネットを越えればよしとする。 ※スパイク 時間を多くとって技能を習得させる。ジャンプをして高い所でボールがキャッチできる。
考えられる作戦	<ul style="list-style-type: none"> ・相手コートの空いているスペースに返球 ・特別なルール※1 ・自分の守るエリアを決める ・ボール（大きさ・柔らかさ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・作戦ボードがグループに1つあると好ましい。 ※1 レシーブ→トス→スパイクが成功したら、ボーナスポイントをつける。
ゲームの分析	<ul style="list-style-type: none"> ・触球数 スキルテスト（直上・対人パス） ・ボールに触っていない生徒のコート内の動きを評価する。 ・準備動作 ボール方向にへそを向けているか ひざを柔らかく使っているか ひじが伸びているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールの種類 ・人数 ・ネット高さ ・得点方法 ・ルール（キャッチ有りなど） 生徒の実態に合わせて工夫する。

